



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

2026 年 6 月 18 日

都道府県知事

いわき市長 殿

提出者

住 所 福島県いわき市泉町黒須野字江越51-15

氏 名 スソニティジャパン合同会社 小名浜工場

工場長 高橋則夫

電話番号 0246-56-7600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

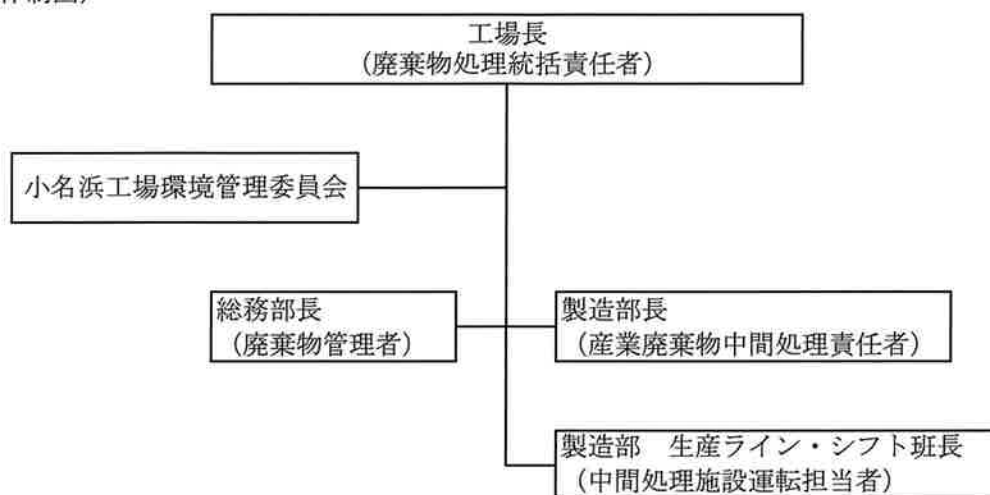
事業場の名称	スソニティジャパン合同会社 小名浜工場
事業場の所在地	福島県いわき市泉町黒須野字江越51-15
計画期間	令和8年4月 から 令和9年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	製造品出荷額：9,000百万円
③ 従業員数	176名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

※以下、別紙のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度(令和7年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	陶磁器くず [※]	木くず [※]	金属くず [※]	廃油	廃アルカリ
	排出量(t)	863	40	351	26	2	15	135
	(これまでに実施した取組)	平成28年度に脱水設備を更新した。	一部を有価物として再資源化した。	一部を有価物として再資源化した。	パレットを社内で再利用しているほか、納品業者に返却して再利用する割合を増加させた。	一部を有価物として再資源化した。	洗浄溶剤削減活動(ISO14001)を実施し抑制に努めている。	工程の工夫により洗浄水の削減に取り組んでいる。
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	陶磁器くず [※]	木くず [※]	金属くず [※]	廃油	廃アルカリ
	排出量(t)	850	35	330	25	1	12	120
	(今後実施する予定の取組)	脱水設備にて適切な脱水処理を継続する。	有価物として再資源化する割合を増やす。	有価物としての再資源化を検討する。	パレット再利用の取組みを継続する。	有価物として再資源化する割合を増やす。	洗浄溶剤の再利用を継続する。	洗浄水の削減を継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項								
①現状	【前年度(令和7年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	陶磁器くず [※]	木くず [※]	金属くず [※]	廃油	廃アルカリ
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	工程中で分別している。	再資源化可能なものを分別し、専用の圧縮機にて保管している。	発生のつど分別し保管している。	発生のつど分別し保管している。	発生のつど分別し保管している。	発生のつど分別し保管している。	工程中で分別している。
	【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	陶磁器くず [※]	木くず [※]	金属くず [※]	廃油	廃アルカリ
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	-	-	-	-	-	-	-

産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度(令和7年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	陶磁器くず [※]	木くず [※]	金属くず [※]	廃油	廃アルカリ
	全処理委託量	863	40	351	26	2	15	135
	優良認定処理業者への処理委託量	18	0	0	0	2	15	135
	再生利用業者への処理委託量	831	22	192	26	0	0	0
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)	再生土/路盤材として再生利用を継続中	再資源化可能なものを分別し、適切な処理を委託している	再生利用業者への委託割合を増やした	燃料用木材チップ等として再生利用を委託している。	-	-	-
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	陶磁器くず [※]	木くず [※]	金属くず [※]	廃油	廃アルカリ
	全処理委託量	850	35	330	25	1	12	120
	優良認定処理業者への処理委託量	20	0	0	0	1	10	120
	再生利用業者への処理委託量	830	25	260	25	0	0	0
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	(今後実施する予定の取組)	再生土/路盤材として再生利用を継続する	再資源化可能なものを分別し、適切な処理委託を継続する	再生利用の割合をさらに増やす	燃料用木材チップ等として再生利用の委託を継続する。	-	-	-